

低気圧と台風

夏になると、台風が日本にもやってくるようになります。台風は、遠く、熱帯地方で生まれた「熱帯低気圧」が発達して、最大風速が約 17m/s をこえたものをいいます。「台風」とは

北西太平洋や南シナ海に存在している場合の名称であり、存在する場所によっては「ハリケーン」や「サイクロン」などと呼ばれます。(なお、場所により名称が変わるため、「ハリケーン」から「台風」に変わることもあります)。

台風や熱帯低気圧は、暖かい海面から供給された水蒸気が雲粒になる時に放出される熱エネルギーによって維持されています。なお、年間を通して日本付近に現れる低気圧は「温帯低気圧」といいますが、このエネルギー源は、南北の気温の差です。この点が、台風と温帯低気圧の違いを作り出しています。

台風は、暖かい海面では、勢力を強めたり維持したりすることができます。また、雲の範囲が小さくても風が強く、周囲の風に流され、東西南北の様々な方向に進みます。逆に、上陸すると、エネルギーの供給がなくなり、衰弱していきます。

台風は日本付近まで来ると「温帯低気圧」へ変わることが多くなります。これは、日本付近は海水温が低くなっていることで、エネルギーの供給が少なくなる一方、台風の周囲に寒気が入るようになるため、気温の差が大きくなり、そこからエネルギーを得るように変わっていくからです。

台風としては弱まっても、温帯低気圧として、再び発達することもあるため、注意が必要です。

今年の秋の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方は、平年より高い気温となり、降水量はほぼ平年並みの予想です。

平年の値（日立市役所）

項目	9月	10月	11月
平均気温 (°C)	21.8	16.8	11.9
降水量 (mm)	178.8	173.3	78.3
日照時間 (時間)	134.3	151.2	157.9
平均湿度 (%)	80	74	67

平年値（1981～2010年の30年間の平均）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

防災対策課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<https://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。